

■第13回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門） 【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト	チーム紹介	参加回数	本大会出場実績
北海道・東北	福島県	聖光学院高等学校	演劇・ポエム		今年のテーマは『気持ち』です。劇に登場する一人一人が様々な「気持ち」を抱えて生活しています。「ろう者だから…」や「友達になりたい」、「好きだ」や「本当の自分は…」など各々が気持ちを隠しています。自分の気持ちを伝える、素直になることは、簡単なようで難しく、なんとなく「独りぼっち」と感じることも多くあります。予選動画では、「友達になりたい」という気持ちに重点を置きました。また、それを伝えることで、聞こえる世界と聞こえない世界の心が通じ合い、1つの体現を表しました。風や光、花など呼吸を合わせて表現をしています。目を合わせ、共に動くこと、その大切さが届きますように、と思いながら劇を完成させました。	私たち手話部は、1年生5名、2年生2名、3年生4名の計11名で活動しています。高校生になってから手話を覚えた部員がほとんどですが、皆で力を合わせて劇を完成させました。どうぞお楽しみください。	5	○
北海道・東北	福島県	光南高等学校	演劇	迷探偵コーナン ～ヘルプマークが伝える真実～	この劇の演技コンセプトは、ヘルプマークを通して「見た目では分からない困難さ」への理解を深めることです。高校生ならではの軽いコメディ調を入れながら、日常の中にある偏見や誤解を、対話でお互いの気持ちに理解を深めていきます。またこの内容の背後には、“想像力”というテーマを脚本を作成しました。観る人にお互いに助けを求め合う勇気やお互いに気づいて支え合う優しさを感じていただき、私たちの日常を少し明るく変えていく演技を目指します。真実はたぶん一つ、思いやりの言動は必要だ。	私たちは今年から授業で手話を学び始めた4人のチームです。少人数だからこそ、お互いに助け合いながら楽しく学び、少しずつ技術を磨いています。これからも手話を通して気持ちを伝えみんなで成長していきたいです。	初	－
関東	埼玉県	大宮ろう学園	ポエム・演劇	人間動物園 ～差別のない未来へ～	19世紀から20世紀初頭に世界各国で起こった「人間動物園」という歴史的史実を通して、人間の平等についてを伝えたくて、このテーマを取り上げました。前半では、展示される側（ろう者）が自由を奪われ孤独で、見世物として扱われる苦しみを手話だけではなく、表情や身体表現で伝えます。一方で、展示を見る側の冷淡さ、好奇心、人を物のように扱う態度も合わせて表現します。後半では、ろう者が自由を手に入れ、ようやく解放された空間を描きます。人は誰でも必ず全員が尊重されるべき存在であることと、今、自分たちがいかに自由で、いかに幸せなのかを伝える、そんなパフォーマンスをします。	今年も、「絶対に優勝するぜ！」という熱く、固い意志を持ったメンバーが集いました。手話表現、表情、話の展開、テーマ等、どれも見てくださる皆さんの記憶に残るようなパフォーマンスをします！	5	○
関東	埼玉県	坂戸ろう学園	演劇	ろうあ島 ～そして、広がる～	とある2人の男が海へ釣りに出かけた。しかし、遭難した2人は、とある謎の島に着いた。そこにはろう者、つまり手話で会話する先住民がいた。2人はろうの先住民に手話を教わりながら共に生活した。やがて、1年が過ぎた。互いに絆を深め、交流することの大切さを知る。船が修復され、2人は自分の国に帰ってろう者の事を広めることを誓い、島を後にした。この劇では、聴者とろう者の目線の違いを表現しているが、これもうろ者の文化の1つ。聴者とうろ者が共に生活する中でお互いの文化を理解し、手話を身につけられる場所が限られている。身近なところから簡単な手話を広めつつ、両者が暮らしやすい差別のない世界を作っていきたい。	今回のメンバーは全員初参加です。坂戸ろう、お得意のチームワークを発揮し、今までにない最高のパフォーマンスにします。歴代で参加された先輩たちの意志を引き継ぎ、新しい坂戸ろうの姿を皆さんにお見せします!!	5	○
関東	東京都	潤徳女子高等学校	手話劇	手話で伝える桃太郎	昔から私たち日本人に馴染みのある桃太郎の劇をすることで普段手話に触れない人でも興味を持ってほしいと思いました。また、私たちの作品は主人公の桃太郎を聴覚障害者として描いたオリジナルの内容になっています。そして、鬼を倒すのではなく対話をし和解する話になっています。手話や体を使って表現することで言葉だけでなく別の方法でも気持ちを表すことができるという私たちの思いを込めました。「互いに違いを認め合うことで、共に生きるということの大切さ」ということを大事にし、共に安心できる共生社会について考えるきっかけになることを目指しています。	私たちは手話や劇の内容を通して 互いの違いを認め合える思いやりの大切さを伝えたいと思って今まで練習してきました。手話を知らない人の心にも響くよう、思いを込めて演じます。	10	－
関東	東京都	足立東高等学校	演劇	Circle of Thanks	私たちの演技コンセプトは「感謝」です。高校生になり、毎日母にお弁当を作ってもらい、洗濯をしてもらっていたにもかかわらず、それを当たり前だと思い、「ありがとう」を伝えられませんでした。しかし、母を亡くした事で、支えてくれていた存在の大きさに気づき、「あの時感謝の気持ちを伝えておけば良かった」と後悔をしています。私たちはこの物語を通して、家族や誰かに支えてもらえる事は決して当たり前ではない事を伝えたいと思いました。何かをしてもらった時には「ありがとう」という言葉を大切にし、支えてくれる人や大切な人への感謝の気持ちを伝えてほしいという思いを込め、表現します。	足立東高校手話部です。今年は演劇に挑戦し表情や動きにも力を入れて練習しました。テーマは「感謝」。家族や友達に何かしてもらった時は「ありがとう」の気持ちを伝えてほしいという想いを届けます。ぜひご覧ください。	7	－
関東	神奈川県	横浜南陵高等学校	演劇	「繋がる」って楽しいね	ここ数年、学校の部活動の加入率は減少傾向にあると聞きます。私たちの高校でも、社会福祉（手話）部の部員数は多い時の半分ほどとなり、勧誘に苦労しています。手話の魅力は、人との繋がりを広げられることです。私たちは手話通訳や手話ソングなどの活動を通して多くの人と出会ってきました。この演技では、部活動勧誘に悩む高校生がろう者の方との交流を通して手話で繋がる楽しさを再認識し、前向きに行動する姿を表現します。勧誘で手話の良さが中々伝わらない序盤の様子から、ろう者の人と出会い、手話を通じて繋がることのできる良さを実感し幕を閉じるまでの、主人公の気持ちの変化に注目してご覧ください。	横浜南陵高校社会福祉部は、地域のボランティア活動や様々な場で手話ソングを披露するなどの活動をしています。手話とボランティアを通じて繋がることの楽しさや達成感を日々感じることができています。	11	○
中部	富山県	小杉高等学校	魅力発信	富山の魅力を全国へ発信	私たちは高校で生活ビジネス系列に所属し、保育や福祉について学んでいます。福祉の授業で手話を学び、富山の魅力を全国に手話で発信したいと思います。11名で11（ほたるいか、しろえび、すし、ますのすし、寒ブリ、黒部ダム、立山黒部アルペンルート、チューリップフェアー、瑞龍寺、雨晴海岸、五箇山の合掌造り）の観光地や特産品を紹介します。富山の魅力が伝わるように手話を大きく見せ、富山に行ってみたいと思ってもらえると嬉しいです。	私たち小杉高校の保育・福祉分野の11名は保育や福祉について学んでいます。今年は富山県の観光地や特産品の魅力を全国に発信します。予選突破を目指して頑張ります。	4	－
中部	石川県	石川県立ろう学校・田鶴浜高等学校	演劇・ポエム	透明な境界線の向こうには	合同チーム4年目の私たちは、学校や聞こえの程度は違っても、同じ時を生きる大切な仲間です。共に活動する中で気づいた、人と接する時のワクワクと、ふと感じる孤独。そんな自分と周囲の間に引いてしまう「透明な境界線」を、今回の演技では「ろう者」と「手話初心者」のリアルな対比で体現します。周囲に合わせながらも、見えない境界線の手前で揺れ動く私たちの葛藤。そして、境界線の向こうに一歩を踏み出したい、通じ合いたいと願う私たちの思い。映像のラスト、心の中にある本当の気持ちに向き合ったとき、溢れ出す切実な心の声。「でも、本当は……」	結成4年目、石川県立ろう学校と田鶴浜高校の合同チームです。違う視点をたくさん持っているという私たちの強みを生かし、高め合ってきました。より洗練されたパフォーマンスをご覧ください。	石：4 田：13	○

■第13回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門） 【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト	チーム紹介	参加回数	本大会出場実績
中部	愛知県	高浜高等学校	演劇	伝えたいのに伝わらない	福祉科の高校生が初めての施設実習に参加した際、耳の聞こえない知的障害のある利用者さんと接した体験をもとに構成しました。初対面では、あいさつや自分の名前さえ伝えることができず、「話したいのに伝わらない」「相手のことを知りたいのに知ることができない」というもどかしさを感じました。しかし、手話というコミュニケーションの方法を知り、少しずつ気持ちを伝え合えるようになりました。作品では、高校生の心の声を別の一人が担当し、前半は伝わらない不安や戸惑いを、後半は手話によって人と人がつながる喜びへと変化していく心の動きを表現しています。手話を通して、心を通わせることの大切さを表現した作品です。	心の声に気づける人に。私たちは、介護福祉士を目指して福祉科で学ぶ高校生です。手話を練習し、イベントで発表したり、市の広報に手話講座を掲載したりして、多くの人に手話の魅力を伝える活動をしています。	3	－
中部	愛知県	桜花学園高等学校	ミュージカル	私の音楽	生まれつき耳が聞こえない主人公は、大好きな家族や友人に囲まれながらも、みんなが当たり前楽しんでいる「音楽」や「歌」の世界が分からないことに、次第に孤独を感じて心を閉ざしがちになります。「私もみんなと歌ってみたい、なぜ私だけ――」暗闇のなかで葛藤する主人公に、仲間たちが「できるよ!」と手を差し伸べます。それから、全員で歌い踊る手話ダンスを通じて、主人公は「手を動かせば気持ちが届き、繋がる」ことを知ります。手話こそが私の「新しい声」だと気づいた主人公が、仲間と共に心を通わせ、未来へ向かって力強く自分たちの手話歌を響かせる、感動のミュージカル風手話パフォーマンスです。	桜花学園高校インターアクトクラブです！部員18名で福祉施設訪問や地域イベント、月2回の手話講習会を中心に活動しています。日頃から磨いている手話を使って、私たちの元気を届けます！	11	○
近畿	京都府	京都府立聾学校	演劇	僕たちが伝えたいこと	僕たちは聞こえないこと、聞こえにくいことによって、日常生活で様々な困難さや不満を抱えてきました。周りの人たちが当たり前に行っていることができないことへの不安や葛藤を抱えながらも、たくさんの人たちとの関りを広げたいと思っています。僕たち2人は同じ学校で仲良しですが、家庭環境やコミュニケーションの取り方が違います。そんな中でも「手話ができる、手話が好き」という共通した思いがあります。自分たちからたくさんの人たちに知るためにも、手話の楽しさや素晴らしさを周りの人たちに知ってほしいと思っています。劇をとおして自分たちの手話の表現を見てもらい、少しでも多くの人に手話に興味をもってほしいと思います。	京都府立聾学校の有志チームです。学校は同じでも、コミュニケーションの取り方や家庭環境は様々です。今回は手話を広めたいという僕たち2人の共通するテーマにスポットを当て、精一杯演じたいと思います。	6	○
近畿	京都府	日星高等学校	ポエム	星の王子さま	サン＝テグジュペリの『星の王子さま』をします。大人になる一歩手前の私たちが、忘れてはいけない気持ちを心に留めておきたいと思い、この作品を選びました。今回の手話による演技は、言葉だけでなく、手話や表情、視線を通して登場人物の気持ちを丁寧に伝えることを大切にしました。動きが少ない場面が多いため、一つ一つの手話を丁寧に表し、間の取り方や表情の変化を工夫することで、物語の世界観や感情が伝わるように意識しました。『星の王子さま』が伝える『最も大切なものは目に見えない』というテーマを大事にして、相手を思いやる気持ちや、心のつながりを表現できたらと思います。	日星高等学校の手話クラブです。『星の王子さま』の世界観を大切にしながら、物語の魅力や登場人物の気持ちが伝わるようにしました。手話や表情を工夫して、みんなで協力しながら心に残る演技を目指しました。	7	－
近畿	兵庫県	姫路商業高等学校	コント	取り愛	私たちは関西で育ち、昔から身近にあった「お笑い」をテーマに挑戦しました。その中でも今回は、自分たちの新しい一面を出せるよう“コント”という形を選び、高校生だからこそ表現できる「学生あるある」をコンセプトにしました。個性豊かな女の子たちが、転校生の男の子をめぐって大騒ぎする学園コントです。「わかる!」と共感しながら、たくさん笑って楽しんでいただけたら嬉しいです！また、この発表を通して、手話にあまり触れる機会のない方にも少しでも身近に感じてもらえたらと思っています。2年間のプレゼンテーション活動で手話を行ってきた経験を活かして私たちらしく全力で演じます。ぜひ最後までお楽しみください！	私たちは石川県の被災地ボランティアでろう者の方が避難所にいたことがきっかけで手話を始めました。今では日本手話だけではなくIC・IA・20・26の世界大会で、日本代表として国際手話でプレゼンテーションをしてきました。	2	－
近畿	兵庫県	鳴尾高等学校	演劇	笑顔があふれるように	私たちは4月に阪神・淡路大震災の震源地である淡路島へ行き、防災について学びました。そこで写真や展示品を見て、地震の悲惨さと怖さを実感しました。さらに実際に地震を経験した方のお話を伺い、日頃から周りの人と助け合うことや、コミュニケーションが大切だと学びました。私たちはこの学びをより多くの人に伝えたいという思いから、手話を使って防災について発信する内容の演劇を制作しました。特に意識したのは表情です。手話は手の動きだけでなく表情によって気持ちや伝えたい内容が変わるため、相手にしっかり伝わるように表現しました。この演劇を通して、防災への意識や、助け合うことの大切さが多くの人に伝われば嬉しいです。	私たちは兵庫県立鳴尾高等学校総合人間類型の1、2年生です。手話で表現することは難しかったのですが、学年の壁を越えて協力し、教え合いながら一つの作品を完成させることができました。是非ご覧ください！	11	－
近畿	兵庫県	西脇高等学校	演劇・ファッションショー	誰もが輝けるファッションショー	私たちは地元の産業である播州織の魅力を伝えるため、自分たちで衣装をデザイン・製作し、ファッションショーをしています。福祉の授業の中で手話に興味を持ち、手話とファッションショーを融合させ、聞こえ方や伝え方が違ってても、同じ空間で一緒に楽しみ、自分を表現できることを伝えたいと思いました。ファッションは自分らしさや個性を伝える大切な表現の一つです。今回、好きな衣装を着ることで新しい自分に会える、いろんな自分になれるというメッセージを込めています。ステージでは障がいの有無に関係なく誰もが自分らしく輝けることを伝え、自分のやりたいことに挑戦してほしいという思いで作成しました。	私たち生活情報科は、地元の産業の播州織を広めるためにファッションショーをしています。福祉の授業をきっかけに手話に興味を持ち、手話を取り入れたファッションショーで「自分らしさ」の大切さを伝えたいです。	初	－
近畿	奈良県	奈良県立ろう学校	演劇	どこ吹く、風？	ろう学校が置かれている状況はここ数年で劇的に変化している。生徒数の減少、部活動のあり方、手話言語話者の減少。本校も例外ではない。この演劇は演劇部員の何気ない会話から始まる。演技のためのセリフというわけではなく、きっとどこかのろう学校でされているであろう、日常でありつつも悲痛な叫びである。次のシーンではなんとか演劇に興味をもってもらおうとする劇中劇となっている。聞こえないに関係なく伝わる演技を模索している。最後のシーンは自分たちの置かれている状況を暴風に例え、それでも前向きにやっいていこうという思いを込めた。難しい状況をコミカルに、高校生らしくさわやかに演じることをコンセプトとした。	奈良県立ろう学校の演劇部です。私たちは中学部3名高等部2名で発表に向けてみんなと協力して活動しています。活動内容は地域の発表に参加したり、他の高校との大会に参加したりしています。	12	○
中国・四国	鳥取県	境港総合技術高等学校	メッセージ	私たちの心の成長	1年生から3年生まで何度もクラス内でもめ事が起きたこと、その中で互いを認める大切さを実感したことをメッセージとしました。2年生の時に手話歌に挑戦し、苦手な生徒がいながらもお互いをフォローし合って挑戦しました。ライラックの歌詞と自分たちが重なったこともあり、歌詞の意味をなぞりながら、当時の自分たちが感じた感情を3分バージョンで表現する。その時に挑戦した曲をクラスのテーマソングとし、アカペラで歌うことにした。	私達は、とっても個性の強いメンバーが集まったクラスです！その強さがぶつかり合い、すれ違う時もあったけど、心の成長と認め合う大切さを知り、今も成長中！	13	○

■第13回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（演劇・コント・ポエム等部門）【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト	チーム紹介	参加回数	本大会出場実績
中国・四国	島根県	立正大学浜南高等学校	コント	島根の自慢話	「私たちの愛する島根県をもっと全国の人に知ってほしい！」そんな熱い思いを、親しみやすいコント形式にまとめました。地元民でも驚くような島根の意外な一面や、NHK朝ドラ『ばけばけ』の舞台となった話題、さらに私たちが通う立正大学浜南高等学校について、二人の手話を通してコミカルに表現します。	私たちは授業で手話を学ぶ中で、手話を通じて地元島根の魅力を伝えようと思いました。人数は少ないですが、二人の絶妙なやり取りと、動画編集を駆使して島根の魅力発信をしていきたいと思います。精一杯頑張ります。	初	－
中国・四国	愛媛県	済美平成中等教育学校・松山聾学校	演劇	時をつなぐ指先 ～変わりゆくことば、 変わらない想い～	昭和から現代へタイムスリップした高校生と、令和を生きる高校生たち。毎日のように新しいことばや手話が生まれる教室で、彼らが出会ったのは、辞書には載っていない「昔の手話」だった。新旧の手話が交錯する中で生まれる、ささやかな心の通じ合いと、小さな摩擦。ことばの形は時代とともに変わっていくけれど、それを誰かに届けようとする人の想いは、昔も今も決して変わらない。昔の手話があるからこそ、今の手話がある。本作は、変わりゆくことばの狭間で、大切なものを守り、未来へとつなごうとする高校生たちの姿を描く。私たちはその歴史を指先に宿し、今日も想いを伝えていく。	私たちは、松山聾学校、済美平成中等教育学校の合同チームです。日々対話を重ね、合同チームだからこそ生まれる様々な視点やアイデアを活かし、昔から続く手話文化の継承と発展を目指して活動しています。	済：4 松：8	済：○ 松：○
九州・沖縄	福岡県	福岡女子商業高等学校	手話歌	挑戦	私たち福岡女子商業高等学校は、サンボマスターさんの『できっこないをやらなくちゃ』を元に私たちの高校のスローガン「挑戦を楽しめ」をテーマに演技や手話歌を披露します！この曲は「自分の限界を決めず、肯定感を持って一歩踏み出そう」という意味が込められています。私たちはお互い知らない中でこの大会の優勝を一つの目標に掲げて協力してきました。今回はその思いを手話と演技で精一杯表現します。これまでの練習の成果を発揮して、6人で心をついに挑戦を楽しみながら全力で演技します。最後までお楽しみください！	私たち福岡女子商業高校は1年生4人、2年生1人、3年生1人の計6人のチームです！この2ヶ月間、全員で熱心に練習を重ねてきました！私たちの思いが届くように精一杯表現します！	初	－
九州・沖縄	佐賀県	佐賀星生学園	演劇	白雪姫とかぐや姫	今年の劇は、誰もが知る『白雪姫』と『かぐや姫』を掛け合わせた物語です。西洋と東洋、それぞれの世界にある「孤独」が出会う、不思議で幻想的な世界観を目指しました。見どころは、違う世界にいた二人の姫が出会い、毒リンゴと竹の杖を交換して、自分の力で運命を切り拓いていくシーンです。静かな手話で切なさを表す部分と、体全体で感情を爆発させる部分のメリハリを大切にしています。魔法の鏡や満月、竹林といった背景も、自分たちの体と手話で表現し、映像でも綺麗に見えるよう工夫しました。孤独を乗り越える強さと希望を、全力のパフォーマンスで届けます！	挫折を乗り越え手話に出会った仲間です。前回予選落ちした悔しさをバネに、今年こそ本選へ！私たちらしい素敵なパフォーマンスで、支えてくれた方々への感謝と日頃の成果を、全員で心を込めて全力で届けます。	3	－
九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	演劇	アオハル ～We are Deaf～	本校手話落語部は今年度、新入高等部員が6人増えるという嬉しい状況で、今まで以上に賑やかに活動しています。今回は部員みんなの経験や思いを出し合って、ありのままの学校生活に、ちょっと楽しいフィクションを加えた唯一無二の学園ドラマを作りました。青春まっただ中の私たち。青春であるが故の悩み、「D e a f」であることの思い……。少しでも共感し、「あるある」「へー、そうなんだ」と笑っていただけたら嬉しいです。	こんにちは！熊ろう手話落語部です。今年度は新入部員が6人加わり賑やかになりました。今回は私たちのリアルを劇にしました。少しでも共感し、「あるある」「へー、そうなんだ」と笑ってくれたら嬉しいです。	12	○
九州・沖縄	大分県	大分東明高等学校	ポエム	顔を合わせて話す意味	スマートフォンやSNSの悪影響・・・依存、デジタルタトゥー、人間関係悪化、うつ病、などをテーマに、とても便利なものだけれど、一歩間違えると取返しのつかない状況にもなりかねない、今、私たちの身近にある思いを訴えてみました。仮に言葉を発さなくても、画面を見て文字だけで会話するのではなく、顔を合わせて思いを伝えることが大切だと感じています。このような思いを少しでも手話で、多くの方に伝えられたらと思っています。	複数のコースの生徒が週に一度集まり、楽しく手話を学んでいます。ほとんどの生徒が高校入学後から学び始めていますが、手話スピーチコンテストや手話検定の受験など、手話へ取り組む意欲が高いサークルです。	13	○
九州・沖縄	鹿児島県	与論高等学校	演劇	ことば献奉	「今宵、交わすのはアルコールではなく、あなたの言葉と私の手話。一言も残さず、乾杯！」と論伝統文化である、与論献奉の本質「相手への深い感謝と敬意」を何よりも大切にします。お酒を注ぐ代わりに「目に見えない想い（手話と言葉）」をグラスに注ぎ、一滴も残さず飲み干す（受け止める）という、精神性の高いやり取りをベースに、伝統的な「お酒の回し飲み」を「手話と言葉の 回し合い」へと昇華させ、アルコールが飲めない人、耳が聞こえない人、言葉が通じない人など、すべての人がフラットに笑顔で繋がる演劇です。	鹿児島県立与論高校です。昨年から手話を学び始めました。遠く離れた最南端の島から、日頃の成果と熱い想いを手話に乗せて届けます。島育ちのチームワークで精一杯頑張ります！	初	－